



呼吸器病センター長 ごあいさつ

呼吸器病センター長 飛野和則

呼吸器病センター長の飛野です。

平素より飯塚病院、そして呼吸器病センターの診療にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。コロナ禍のため発行の間が間延びしてしまっておりました広報誌「いき息、いいづか」を、久しぶりに皆様にお届けさせて頂くこととなりました。

コロナ禍が2020年初頭に始まり3年間続き、ようやく感染症法上は5類に落ちたものの未だ皆様大変なご苦勞をなされていることとお察しいたします。当院も未だに入院症例や医療スタッフの感染が散発しており、皆様にご迷惑をおかけしております。誠に申し訳ございません。

その様な状況ではございますが、皆様のご協力によりまして呼吸器病センターの入院・外来症例数を落とすことなく専門診療を維持させていただくことができております。DPC（診断群分類包括評価制度）病名で全国の対象病院における入院患者数を比較いたしますと、現在当センターは「肺癌」で福岡県5位・全国39位、「間質性肺炎」で福岡県2位・全国31位の実績を上げております。昨年と比較し少し順位を落としており、更なる疾患啓発と医療・ケアの質の向上に心掛けてまいります。また、外来では変わらずCOPDと喘息がメインです。これらの気道疾患に対して昨今多くの吸入薬が上市されておりますし、さらに使用できる生物学的製剤の種類も増えてまいりました。特に重症の患者さんにつきまして、地域の先生方と連携し最適な治療を提供させていただきたいと考えております。是非ともこれまで以上の連携をお願い申し上げます。

我々は、「筑豊の皆様の世界標準の呼吸器診療を届ける」を目標に、センターを運営しております。これまで以上に皆様と共に手を携え合い、地域を支えていく医療活動ができればと強く願っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



平素より大変お世話になっております。呼吸器内科部長の飛野です。

呼吸器内科の現状についてご報告いたします。

2023年度は**スタッフ14名、専攻医4名、特任副院長1名**で運営しております。スタッフの末安医師が基礎研究を行うため順天堂大学大学院へ昨年11月に異動しまして、現在線維芽細胞の基礎研究に没頭しております。いずれ筑豊に多くの知見とネットワークを持って帰ってきてくれると思っております。そして、専攻医であった3名が春よりスタッフに昇格しております。皆様に育てて頂いたものと思っております。さらに、今年も新たな若手医師が2名当科の専攻医として就職いたしました。このよ

うに、常日頃の皆様の温かいご支援によりまして、福岡県はもとより全国でも注目されるほどのスタッフ数と診療実績を維持することができております。改めて感謝申し上げます。

この実績をもとに、今年度は**間質性肺炎の中心である特発性肺線維症（IPF）、進行性線維化を伴う間質性肺疾患（PF-ILD）に対する新薬の治験**を始めることができました。この治験は福岡県でも3施設しか行うことができないものであり、他の2施設は福岡市内です。また、COPDや慢性咳嗽に対する治験も行う事が出来ております。筑豊の患者さんに新薬をいち早くお届けできるようになったことがとても嬉しく、今後も精進し様々な薬剤の治験や臨床試験を行い全国標準以上の治療をお届けできるようにして参ります。

今年度のTopicsとして、**間質性肺炎のWeb-MDD**を開始することができたことをご紹介したいと思います。間質性肺炎は高齢化と疾患啓発に伴い診断が増加している疾患で、2014年に我が国の死因としてCOPDを抜き、毎年2万人の方がお亡くなりになっています。診断には診療に習熟した呼吸器内科医、放射線科医、病理医による多職種でのディスカッション（MDD）が必要とされております。来年度以降MDDが保険収載される予定となっております、それほど重要視されている診断手法です。私たちはこれまで作り上げてきた全国ネットワークを活かし、放射線診断は佐賀大学病院放射線科の江頭玲子先生に、病理診断は神戸大学病院病理部の田中伴典先生にお願いし、今年度よりWebで全国をつないでMDDを開始いたしました。いずれの先生も全国トップクラスの診断医であり、正確な診断が可能となっております。診断後に正確な重症度評価と早期の治療導入を行うことにより、QOLの維持と生命予後の延長が得られる疾患です。喫煙や粉じん曝露、鳥やカビの曝露歴などがあり、呼吸器症状がある場合や、背部の聴診で“パリパリ”などの副雑音が聴取される患者さんがいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

また、今後は当科のスタッフが皆様のご施設にお伺いしお手伝いさせて頂くアウトリーチ活動や、Googleクラウドを使用したレントゲンやCT画像の遠隔診断などの連携をさせて頂きたいと考えております。もしご用命などありましたら、ご相談させて頂きますのでご連絡ください。

肺癌、間質性肺炎、喘息、COPDには、毎年のように新たな診断法が開発され、新規薬剤が使用可能となる時代に入っております。いずれの疾患でも、診療方針にお悩みになられた際はいつでも当科にご紹介いただけますと幸いです。当科で定期的な評価・メンテナンスを行い、先生方に日々の診療をお願いさせていただくことが最良の連携と考えております。何卒宜しくお願ひ申し上げます。

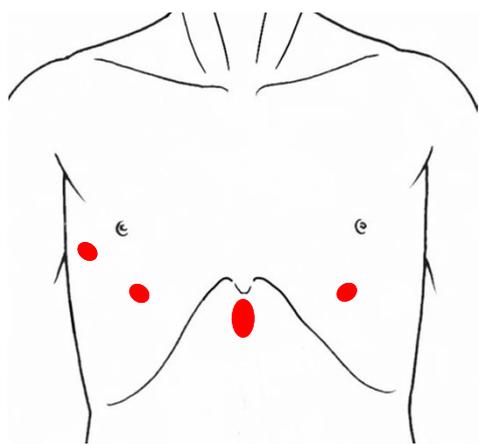
胸部CT検査を行った際、縦隔腫瘍を指摘することがあると思います。縦隔腫瘍には様々な疾患がありますが、良く知られているのは悪性腫瘍の胸腺腫です。また縦隔の嚢胞性病変の中にも悪性疾患を合併していることがあり（特に多房性嚢胞）、注意が必要です。場所的に組織検体の採取が難しいため、手術により診断と治療を同時に行います。



当科では2022年1月より縦隔腫瘍に対してロボット支援内視鏡手術を始め、昨年1年間の縦隔腫瘍手術19例中、17例（89%）をロボット支援手術で行いました（内訳を表で示します）。当科のロボット支援内視鏡手術は、剣状突起下よりのアプローチを基本としています（図）。従来の左右胸腔側からの内視鏡（胸腔鏡）手術に比較して、術後の痛みが少ない印象です。また頸部まで良好な視野を確保することができ、拡大胸腺摘出術も従来の胸腔鏡手術より短時間で行うことが可能となりました。手術を受けた全員の患者さんが合併症無く、早期に自宅退院されています。

縦隔腫瘍を指摘した際に判断に迷うようであれば、是非当センターまでご相談下さい。

図：縦隔腫瘍に対する
ロボット支援手術



剣状突起下に3cmの切開を入れ、そこからCO2送気を行いながら内視鏡を挿入します。8mmのポートを右胸腔側2カ所・左胸腔側1カ所挿入し、手術を行います。

表：縦隔腫瘍に対するロボット支援手術
(2022年17例)

疾患	症例数
胸腺腫	6
胸腺嚢胞	9
気管支嚢胞	1
胸腺過形成	1

手術症例の内訳は、男性6例・女性11例、年齢は平均67.3歳（42-81歳）。腫瘍サイズ中央値は、胸腺腫3.7cm（1.8-6.0cm）、胸腺嚢胞3.5cm（1.3-8.0cm）で、最大8cmの病変もロボット支援下に切除しました。

外来担当表

※ 紹介状の宛先は【呼吸器病センター】、【呼吸器内科】、【呼吸器外科】いずれでも構いません。
 ※ 内科、外科どちらか迷う場合は【呼吸器病センター】宛にご紹介ください。

2024/1/1現在

診療科		月	火	水	木	金
呼吸器内科 (呼吸器病センター)	初診	靄野 広介 花香 未奈子 大井 隆之介 大田 裕晃	井手 ひろみ 西澤 早織 山元 隆太 平松 由莉	飛野 和則* 井手 ひろみ 齋藤 紫 村上 陽亮	靄野 広介 花香 未奈子 神 幸希 内田 和紀	飛野 和則* 吉峯 晃平 坂部 光邦 川畑 隆史
	再診	靄野 広介 花香 未奈子 大井 隆之介 大田 裕晃	井手 ひろみ 西澤 早織 山元 隆太 平松 由莉	飛野 和則* 井手 ひろみ 齋藤 紫 村上 陽亮 山本 英彦	靄野 広介 花香 未奈子 神 幸希 内田 和紀	飛野 和則* 吉峯 晃平 坂部 光邦 川畑 隆史
呼吸器外科 (呼吸器病センター)	初診	篠原 伸二	交代制 安田 学* 近石 泰弘 篠原 伸二	交代制 安田 学* 近石 泰弘 篠原 伸二	近石 泰弘	安田 学*
	再診	篠原 伸二	—	—	近石 泰弘	安田 学

日本呼吸器学会呼吸器専門医9名、日本呼吸器外科学会呼吸器外科専門医2名、
 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医9名

呼吸器内科では、喘息、COPD、間質性肺炎の患者さんのための専門外来もございます。これらの疾患の病勢評価、治療薬の調整などを検討される患者さんはぜひ呼吸器内科外来へご紹介ください（呼吸器内科外来をご紹介いただいた後、各専門外来へ振り分けます）。

第15回 筑豊呼吸器RENKEIの会

日時 2024年2月15日（木）18:50~20:30

場所 株式会社麻生飯塚病院 教育棟6F『百年ホール』
 TEL 0948-22-3800（代表）

報告1 18:50~19:10 | 呼吸器外科より報告

飯塚病院呼吸器病センター 呼吸器外科 安田 学

報告2 19:10~19:30 | 呼吸器内科より報告

飯塚病院呼吸器病センター 呼吸器内科 飛野和則

講演 19:30~20:30 | テーマ：肺がん治療

演者：飯塚病院呼吸器病センター 呼吸器腫瘍内科 靄野広介

司会：飯塚病院呼吸器病センター 呼吸器内科 飛野和則

筑豊呼吸器RENKEIの会では、皆様からご紹介いただいた貴重な症例の報告、また、呼吸器疾患の中でも日常臨床に役立つ身近なテーマを毎回取り上げ、呼吸器病センターの先生を中心にレクチャーをお願いしています。是非、ご参加ください。

ご参加いただける先生は、中外製薬株式会社 北九州オンコロジー1室 山之内基恵

TEL：090-7811-5250 Mail：yamanouchimte@chugai-pharm.co.jp

までご一報いただくと幸いです。